



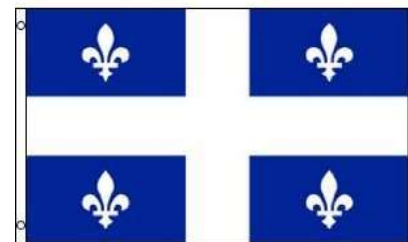
ケベック旧市街地の世界遺産モニュメント



自然と都市が共生するバンクーバー市街地



カナダ国旗



ケベック州旗



ブリティッシュ  
コロンビア州旗

# 民進党愛知県議員団 カナダ海外調査報告書

2016年3月30日～4月6日

## 団 長 あ い さ つ

民進党愛知県議員団としては5年ぶりとなる海外調査団を編成し、2016年3月30日～4月6日の日程で、カナダ・ケベック州とバンクーバー市を訪れ、航空宇宙産業の集積状況や支援、雇用政策、人材育成、生物多様性保全などの環境施策等の多方面にわたる調査活動を行ってきました。

我が県の航空機産業は、昨年11月に国産初のジェット旅客機「MRJ」が初飛行に成功し、更なる期待とともに次世代産業としての拠点集積を着実に進めていかなければなりません。現在の世界3大航空拠点の一翼を担っているボンバルディア社はケベック州に位置し、30km圏内に関連産業の7割が集積しています。また一方で、ケベック州はCOP10の「愛知ターゲット」達成に向けた先進サブナショナル政府でもあり、今年12月にメキシコ・カンクンで開催される生物多様性保全に向けたCOP13での共同アピールの取り組みに加え、気候変動に対しても愛知県に先進サブナショナル政府としての参加を求められました。産業・環境など、愛知県と多くの共通点がある、カナダ・ケベック州やブリティッシュ・コロンビア州の取り組みを調査できた事は大変有意義であり、これからの愛知の発展に欠かすことができない調査が行えたと思っております。

今回の調査で見聞し、学び、感じ取ったことを確りと政策に活かしていくとともに、この調査におきまして、団員の皆様をはじめ、現地や各方面など様々な方々のご協力に心よりお礼を申し上げ、ご挨拶いたします。

民進党愛知県議員団  
カナダ視察調査団

団 長 高 木 ひ ろ し

## 視 察 調 査 団

団長 高木ひろし

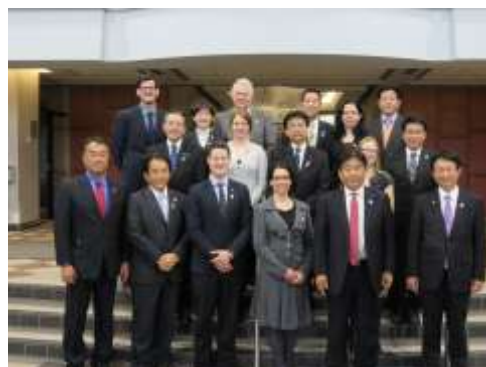
団員 富田昭雄 安藤としき ●鈴木 純

長江正成 谷口知美 森井元志

久野哲生

水谷満信

佐波和則



# 調査報告

【調査期間】 2016年3月30日（水）～4月6日（水）

【調査先】 Aero Montreal（カナダ・モントリオール）

- ・ 航空宇宙産業集積状況及び産・学・官との連携施策、雇用・就労施策について

ケベック州政府航空宇宙部門（カナダ・モントリオール）

- ・ 航空宇宙産業振興に関するカナダ連邦政府の支援及び、連邦政府とケベック州政府の役割分担等について

CAE フライトクルー養成会社（カナダ・モントリオール）

- ・ 航空宇宙産業を支える人材の育成・養成について

ケベック州政府環境部・COP事務局（カナダ・ケベック）

- ・ COP10での「愛知目標」達成に向けた先進サブナショナル政府のケベック州政府の生物多様性保全に向けた取り組み及び、COP13での愛知県との共同アピールに対する取り組みについて

ケベック世界遺産地域視察、ケベック文明博物館視察

- ・ 世界遺産となっているケベック旧市街地の維持・保存状況及び、カナダの中においてフランス語を公用語としているケベックの文化・歴史の継承について

日本貿易機構（JETRO）バンクーバー事務所（カナダ・バンクーバー）

- ・ ブリティッシュ・コロンビア州及びバンクーバー市の経済事情及び環境対策について

VEC（Vancouver Economic Commission）

ブリティッシュ・コロンビア政府国際貿易省（カナダ・バンクーバー）

- ・ バンクーバー市の環境施策、グリーン エコノミー戦略の取り組みについて

## 視察調査行程

日	都市名	時刻	調査先等
3月30日	名古屋 成田	14:50	中部国際空港 発
		16:00	成田国際空港 着
	アメリカ・シカゴ カナダ・モントリオール	17:55	成田国際空港 発 AA154 便にてシカゴへ ～ 日付変更線通過 ～
		16:00	シカゴ 着
		18:24	シカゴ 発 モントリオールへ(入国審査遅れにより6名 22:05 発)
23:30	モントリオール 着 泊(後発6名は翌日 3:15 着)		
3月31日	モントリオール	9:30	地下鉄移動
		10:00	Aero Montreal 視察・調査
		11:30	ケベック州政府航空宇宙部門 訪問・調査
		14:00	CAE フライトクルー養成会社 視察・調査
4月1日	モントリオール ケベック	9:10	モントリオール駅 発
		12:55	ケベック駅 着
		14:00	ケベック州政府国際関係省、COP事務局 訪問・調査
		16:00	
4月2日	ケベック	10:00	旧市街地 世界遺産調査
		13:00	日本人在住者(在住25年)から医療・教育・子育て・福祉等の暮らし事情を調査・意見交換
		14:00	ケベック文明博物館視察
4月3日	ケベック トロント	4:00	ケベック空港 移動
		6:20	ケベック空港 発
	バンクーバー	9:00	トロント経由
		10:55	バンクーバー空港 着
			バンクーバー市内視察
4月4日	バンクーバー	10:00	ジエトロバンクーバー 訪問・調査
		14:30	VEC(Vancouver Economic Commission)、ブリティッシュ・コロンビア州政府国際貿易省 訪問・調査
4月5日	バンクーバー アメリカ・ロサンゼルス	4:00	バンクーバー空港 移動
		7:00	バンクーバー空港 発
		11:35	ロサンゼルス経由 ～ 日付変更線通過 ～
4月6日	成田 名古屋	15:25	ロサンゼルスより成田国際空港 着
		18:30	成田空港 発
		19:45	中部国際空港 着



# Aero Montreal

【調査日】2016年3月31日(木) 10時~11時30分

【調査先】Aero Montreal

【対応者】President Ms.Suzanne M.Benoit

同席者：ケベック州政府 EXPORT Trade advisor Mr.Zuoquan

Wang

【調査目的】カナダ連邦政府、ケベック州政府等の航空宇宙産業支援及び、航空宇宙産業を支える人材の育成・養成や産・学・官の連携施策、国際競争力の保持に向けた戦略・計画の取り組みについて調査。



Aero Montreal 代表(事務局長)の Ms.Suzanne M.Benoit さんから概要説明

## 訪問先からの説明

ケベック州では航空宇宙産業に 40,160 人が従事しています。その内、約 10,000 人が技術者です。ケベック州は、航空宇宙産業の開発分野においてカナダ全体の 70% を占めており、95 人に 1 人はこの分野で働いています。ボンバルディア、ベルヘリコプター・テクストロン・カナダ、CAE、プラット&ホイットニー・カナダの OEM4 社を頂点とした航空宇宙クラスターでは、ティア 1、ティア 2 等 250 の企業がグレート・モンリオール地域に集積しています。研究機関として 7 大学、モンリオール航空宇宙研究所等の集積、人材育成機関、関係機関(AERO MONTREAL 等)も集積しており、ボンバルディア社を中心にしたこの地域は、シアトル、トゥールーズに次ぐ世界第 3 位の航空宇宙産業都市となっています。

エアロ・モンリオールは、航空宇宙セクターの主要企業、ケベック州政府、教育・研究機関、協会・組合等のトップ 27 社で構成するシンクタンクで、航空宇宙部門の競争力(生産性)と国際化(発展性)を高めることを目的に 2006 年に設立されています。局長以下 10 人の事務局が戦略プランの作成やサプライチェーン展開WGなど主要 6 テーマの WG のコーディネート等を行っています。

- 1) Branding and Promotion ブランド・プロモーション WG
- 2) Innovation イノベーション WG
- 3) Supply Chain サプライチェーン展開 WG → **中小企業を海外サプライヤーに育成**

- 4) Human Resources Development ヒューマンリソース WG
- 5) Markets Development-SME 市場開発（中小企業の育成）WG
- 6) Defence and National Security 防衛・安全保障 WG

この6つのWGは200人で構成されています。

#### 技術開発プロジェクト

「Phase 1」として5年間で次の取り組みを進めました。

- ▶Aircraft Composite Fuselage Structures 複合材の航空機胴体
- ▶Next Generation Compressor 高効率エンジン
- ▶Integrated Avionics for Cockpit コックピット向け統合アビオニクス
- ▶Landing Gear of the Future 将来型降着装置
- ▶Integrated Modular Avionic for Critical System 重要システム向けアビオニクス

「Phase 2」は80億円（80M\$）の基金を活用し、今後4年間（2015-2018）で新たなプロジェクトを行います。また、The MACH Initiative として、ケベック州サプライチェーンを作っていきます。予算は、毎年15億円（15M\$）を5年間、70のサプライヤーに対して行っていきます。

#### 《質問1》

技術者の養成方針があれば説明してほしい。

【返答】

Aero Montreal のプロジェクトには独自の養成プログラムがあります。

#### 《質問2》カナダ政府とケベック州政府と Aero Montreal に対する関係は？

【回答】

取り組みをリードするのはケベック州政府です。予算の約5億円は州政府と企業が折半して運営しています。

#### 《質問3》型式認証は米国とカナダで違いはあるか？

【回答】私たちは米国認証制度もクリアしている。ただし、中国の航空機はカナダ国内のみの認証です。

#### 《質問4》カナダ政府の研究機関は？

【回答】カナダディアン スペース エージェンシーです。

#### 《質問5》寄付制度はありますか？

【回答】受け付けており、民間が40%です。

#### 《質問6》今後の問題点は？

【回答】技術の伝承が課題です。



## ケベック州政府航空宇宙部門

【調査日】2016年3月31日（木）11時30分～13時00分

【調査先】Aero Montreal

【対応者】ケベック州政府 EXPORT Director Ms.Marie-Eve Jean

同席者：ケベック州政府 EXPORT Trade advisor Mr.Zuoquan Wang

【調査目的】航空宇宙産業に対するカナダ連邦政府、ケベック州政府の支援及びそれぞれ  
の役割、雇用・労働環境の整備施策について調査及び意見交換。



ケベック州政府 Director の Ms.Marie-Eve Jean さんを囲んで

### 訪問先からの説明

今後のケベック州と愛知県との関係をより良いものにしていきたいと思っています。今日はその為の意見交換を行いたい。皆様から様々な質問にお答えします。

《質問1》MRO ビジネスについて、アジアや日本での展開を考えていますか？

【回答】MRO は地政学的に考えています。したがって、シンガポールのように航空機が集まるハブ空港など、効率的に集約されている場所への可能性を探っています。

《質問2》基本自治体と州政府と連邦政府の役割分担はどうなっているか。違いはどうですか？

【回答】基本自治体は教育や医療、警察などの治安を担当し、行政サービスを行っています。州政府はインフラ整備を中心に、道路などの整備や大きな政策を担当し、連邦政府は外交・防衛を担っています。

《質問3》医療制度など市民負担割合はどうなっているか？

【回答】医療はすべて無料ですが、救急車は民間事業なので有料（1万円）となっています。ただし、症状により政府が、無料から自己負担をキャッシュバックしています。カナダでは皆保険制度があり、サミットでも話題になっています。

《質問4》ケベック州の議員は何人いますか？

【回答】人口700万人に対して州議員は128人います。州政府の議員権限は大きく、議院内閣制をとっており、現在の州知事は与党出身で議会運営は順調です。

《質問5》ケベック州の分離独立問題は現在どうなっているか？

【回答】この10年間、ずっと中道右派のリベラル政党が政権与党だったが、2年間だけ違う政党が担当しました。その党が強烈に「ケベックの分離・独立」を主張し住民投票になった経緯があります。結果は、49対51で辛くも否決されました。また、カナダは英語、フランス語がダブル公用語ですが、ケベック州ではフランス語のみが公用語となっています。私も個人生活ではフランス語、10歳の娘は学校でフランス語と英語を習うが、家ではフランス語を使っています。

《質問6》大学の公私格差がありますか？

【回答】カナダ人であれば学費は年間25万円程度。税は高いものの、福祉・教育には手厚い制度となっています。

《質問7》保育所事情はどうですか？

【回答】公的な施設のほかに、民間施設もあり待機児童問題はありません。また、大企業には企業内保育施設が設けられています。



《質問8》企業の海外進出に対する連携・支援のための予算規模は？

【回答】州予算として20億円です。州全体予算では1兆2千億円くらいです。州内での産業展開には限りがあることから、海外進出が必要と考えています。

《質問9》女性の航空機産業への進出状況は？

【回答】支援はしていますが、女性の航空機産業への興味・関心が低いので、あまり多くはありません。また、社会全体で育休を1年取得して職場復帰する率は75%程度です。

#### ●カナダ

人口 約3,400万人  
面積 約998万km<sup>2</sup>  
通貨 カナダ・ドル(1C\$≒97円)  
首都 オタワ(オンタリオ州)81万人  
最大都市トロント(オンタリオ州)250万人(都市圏550万人)  
カナダは10の州と3の準州からなる連邦立憲君主制でイギリス連邦加盟国。



#### ●ケベック州

人口 824万人 面積 154万km<sup>2</sup>  
州都 ケベック・シティ49万人  
最大都市モントリオール162万人(都市圏380万人)  
セントローレンス川に面し、8割がフランス系住民(フランス語が州の公用語)。

#### ●ブリティッシュ・コロンビア州

人口 465万人 面積 94万km<sup>2</sup>  
州都 ビクトリア8万人  
最大都市バンクーバー58万人(都市圏230万人)  
西海岸から東はロッキー山脈まで、カナダ第3の都市圏バンクーバーは玄関口



## CAEフライトクルー養成会社

【調査日】2016年3月31日（木）14時00分～16時00分

【調査先】CAEフライトクルー養成会社

【対応者】CEO Mr.Erick Canonne

Director of Global & Business Development Mr.Oleh Kaluzny

Global Business Development Mr.Jad Salef

同席者：ケベック州政府 EXPORT Trade advisor Mr.Zuoquan Wang

ケベック州政府 EXPORT Director Ms.Marie-Eve Jean

【調査目的】フライトクルー養成機器（フライトシュミレーター）の製造状況及びクルー養成システム（ソフト）等、航空産業を支える人材育成及び、海外事業展開について調査。



### 【企業概要】

CAE社は1947年に設立され、民間航空機、軍用機に関する訓練プログラムを世界的に提供するグローバルソリューションプロバイダー。年間売上高は、15億カナダドルを超え、従業員数は20カ国以上で100以上の拠点と訓練施設で7,000人以上。民間航空機と軍用機のフルフライトシミュレータの最大の設置数を誇っており、全世界に29拠点の民間と軍用の訓練センターを持ち、毎年75,000人以上の乗組員を訓練している。訓練センターでは、独自のシュミレーションソフトウェアにより、

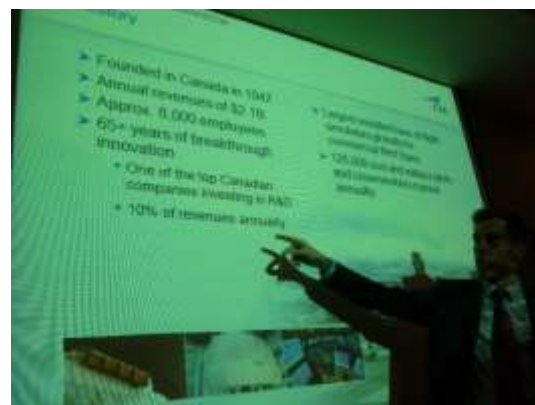
様々な市場セグメントの分析・モデリングを提供し、専門サービス部門のノウハウを通じ、幅広い顧客ニーズに対してサービスを提供している。顧客は世界 100 カ国以上、CAE 社の高度なシミュレータと訓練プログラムを通じ、グローバルなサービス提供を顧客に提供している。

## 訪問先からの説明

当社は JAL と共同出資のプロジェクトを 1 年前に立ち上げました。また、MRJ のテスト飛行フライトシミュレータも納入していますし、今後はフライトシミュレータを納入する三菱と 10 年間契約を結んでいます。我が社の担う分野で世界ナンバー 1 を自負する分野は、

- CIVIL SIMULATION
- COMMERCIAL AVIATION TRAINING
- HELICOPTER AVIATION TRAINING
- BUSINESS AVIATION TRAINING
- CIVIL AB-INITION
- CREW SOURCING SERVICE
- MILITARY VIRTUAL AIR TRAINING
- HEALTH TECHNOLOGY

工場の組立ラインでは年間 60 台のシミュレータを組み立てています。1 台あたり 12 か月から 14 か月かけて組み立てます。この工場には 5,000 人が働いています。年間の会社売上は 2000 億円です。年間のシミュレータ最高販売台数は 48 基（セット）です。A320 タイプで 1 基 10 億円ですが、MRJ 専用シミュレータは販売台数により変動し、最低でも 15 億円程度でしょう。過去はシミュレータのみを販売する会社であったが、現在は、シミュレータ+フライトプログラム作成+操作トレーニング+人材供給+訓練センターのオペレーションまでを一括して行っています。今までに 1,300 基のシミュレータを納入し、130 のエアラインを Customers include しました。そのシミュレータには e-Learning から始まり、Simfinty Integrated Procedures Trainers から、Flight Simfinty Flight Training Devices そして、ヘリや飛行機の Full Flight Simulators を納入し、世界に 30 か所以上のトレーニングセンターを設置しています。JAL とは羽田に設置したセンターで、プログラム過程は Cadet Pilots の育成から Captains までを行っています。また、Cabin Crew 用のプログラムも用意しており、今までにこのプログラムで 2,000 人のエアラインパイロットを育成し、派遣パイロットも 1,400 人を育成し 50 のエアラインと様々な契約を結んでいます。トレーニング手法は機器の購入からパートナーシップやリース、外注まで 8 種類に分けられ、そのカテゴリーが新たな次の契約につながっています。



《質問1》 JALは過去に経営破たんしたが、CAEの評価はどうか？

【回答】過去からの信頼関係もある中、現在の評価は高くなっています。

《質問2》どんな営業活動をされているか？

【回答】トレーニングを行う会社として営業している。顧客からは、データの提供を頂きながら進めています。

《質問3》CAEとJALとの契約は50：50の出資で共同会社を設立したとの説明であったが、教える側はどちらか？

【回答】売るだけ（ドライ）と密接に関係する（ウエット）に区分すれば、ドライである。

《質問4》熟年パイロットを活用しているか？

【回答】もちろん、引退したパイロットも活用している。

《質問5》1台当たり12か月から14か月なので、ほぼハンドメイドであると思うが、効率性は求めないか？

【回答】同じタイプを数多く作成しないので、効率性より多様性を追求している。

《質問6》技術の伝承はどうしているか？

【回答】レベル維持に努力している。

《質問7》効率化を図っているところはあるか？

【回答】オートメーション化することが効率化ではない。

《質問8》パイロットから見たMRJの特徴はどんなものか？

【回答】飛ばしやすい機材である。



## ケベック州政府国際関係省

【調査日】2016年4月1日（金）14時00分～16時00分

【調査先】ケベック州政府国際関係省

【対応者】

- Direction Asie-Pacifique Mr.Mathieu Doyle-Gosselin
- International Organizations and Global Issues Division Ms.Claude Audet-Robitaille
- Direction generale de l'ecologie et de la conservation Ms.Jean-Pierre Laniel
- Direction des organisations international et des enjeux globaux Mr.Frederic Gagnon
- Direction de l'expertise en biodiversite Mr.aude Tremblay LL.M
- Direction Asie-Pacifique Ms.Maude Cote
- Delegee generale du Quebec a Tokyo Ms.Claire Deronzier

【調査目的】COP10での「愛知目標」達成に向け、先進サブナショナル政府であるケベック州政府の生物多様性保全に向けた取り組み及び、COP13での愛知県との共同アピールに対する取り組みなど、先進的な環境施策について調査。



ケベック州政府皆さん



ケベック州東京事務所所長の Ms. Claire Deronzier さん

### 訪問先からの説明

ケベック州の人口は、カナダ全体の約25%に相当し、800万人が住んでいます。人口密度は5人/Km<sup>2</sup>です。

州内を流れるサン・ローラン川は延長1200Kmの長さがあり、約78%が川べりに住んでいます。1608年（400年前）フランス人がケベック市を設立した。カナダ国内ではケベック州がGDPに占める割合が他の州より最も高く、70%がサービス業です。また、TPP協議に対しては、カナダ政府に確りと発言をし、リードしている。音楽・芸術では、セリーヌ・ディオンやシルクド・ソレイユは、ケベック

州が元である。

航空宇宙産業では、Cシリーズに代表される世界第3位の航空機メーカー「ボンバルディア社」がありますが、カナダ製の自動車は無く、日本から輸入される車の40%がケベックで使われています。

水力発電は世界第4位の発電量であり、99%が再生可能エネルギーとなっています。2020年までに10万台の電気自動車を走らせる計画です。カーボンオフセット市場でも米国カルフォルニア州と連携しています。今後はケベック州の北側をどのように開発するかを検討しています。また、州政府と連邦政府は、それぞれが海外と提携し、州政府でも国際条約を締結しています。そして、ケベック州政府事務所は世界中に全部で24か所あります。

### ◎生物多様性に関して

2020年に向けた政策を進行中である。7つの分野で生物多様性が保持される内容です。当然カナダ政府の政策に基づいている。アイチターゲットに向けケベック州もガイドラインを作成しています。土地では州内の17%を保全し、フレッシュウォーターは20%を確保します。120万Km<sup>2</sup>の北側の土地は開発を50%以内とします。気候変動とも連動しながら生物多様性を確保していく。森林の中で生物多様性を担保する内容を昨年決めました。

### ◎生物多様性サブナショナル政府に関して

2010年の名古屋会議からサブナショナル政府間の意見交換が始まり、メンバーが増えることを願っています。2013年バルセルナ会議でも愛知県と意見交換しています。今年はスペインのカタルーニャ州ともCOP13に向け準備しています。1980年代からケベック州は関心を持ち、すべてのCOPに出席をケベック州はしています。メキシコのカンクンにも出席したい。再度イベントの中で愛知県と行事を行っていきます。そして、先週この件で話し合いをしました。

### ◎気候変動に関して

2014年愛知県環境部から2名に訪問していただきました。COPでは大村知事主催のサイドイベントにも参加しています。連邦政府は資金源ではありますが、地方政府はしっかり実行しています。それぞれの役割に焦点を合わせています。地方政府間での協力は他の問題解決に大変役立っています。

また、ケベック州政府は生物多様性に取り組んだと同じように、気候変動にも取り組み、地方政府間でも取り組みは進んでいる。森林保全分野や排出量取引や電気自動車分野でも取り組んでいます。ぜひ、愛知県も気候変動のサブナショナル政府の取組を行ってほしい。ケベック州政府はカーボンオフセットで12億円の利益が出ました。

### ◎東京所長の感想

1943年以来、日本とケベック州は良好な関係を保っています。メープルシロップと車やシルクド・ソレイユに代表されるように文化交流も盛んです。年間10万人の

観光客がケベックに訪れており、今後もよい関係を持続したいと思っています。今後は、名古屋市を含めて愛知県と良好な関係を作っていきたいと考えています。是非、東京事務所をご利用ください。

#### 高木団長挨拶

この10年間愛知県が取り組んできた環境施策、特に生物多様性に関して説明をします。1997年の京都議定書に始まり、2005年には愛知万博を開催した。そして2010年COP10の会議を成功させ、2013年にはESD会議も成功させた。今日はCOP13に向けて、大村知事が協力したい意向を皆様に伝えに来ました。また、お配りしたピンバッジは「Heart of JAPAN」のロゴで、愛知をPRするものです。

#### 意見交換

〈質問①〉気候変動に愛知県は入っていないが、ケベック州政府が把握されている主にリードする活動している自治体はどこですか？

【回答】ケベック州とカルフォルニア州です。

【団長意見】愛知県が気候変動自治体会議に加わる可能性は高いです。理由はFCV「ミライ」への取り組みなど、愛知県独自政策を行っています。

〈質問2〉愛知県内の自動車は約500万台走行していますが、ケベック州では何万台は走っていますか？

【回答】計画で10万台の電気自動車を走らせますが、現在は1万台で4年後に10万台にしたい。現在個人設置の急速充電スタンドを含めて約1,000箇所設置しました。車は約500万台です

〈質問3〉ケベック州政府が導入した電気自動車施策数はどのくらいありますか？

【回答】20項目にわたる政策を半年前に作りました。補助金政策は電気自動車購入補助金1台当たり8,000ドルです。

〈質問4〉愛知県の環境施策のうち太陽光発電は日本1位ですが、ケベック州の電気自動車以外で他州をリードする環境分野はありますか？

【回答】水力発電が世界4位の国なので、電気はもともと99%が再生可能エネルギーです。その為2020年までに10万台の電気自動車を走らせる計画をしました。



## ケベック州庁舎内でのヒアリング風景



### [所感・感想]

多数の州政府職員に出席いただき、愛知県との関係構築に対する思いが感じられました。愛知県に対して、気候変動に対する先進的な取り組みとともに、先進サブナショナル政府への参加が求められたことから、生物多様性保全とともに、国際的な取り組みと情報発信の必要性を感じました。

## 世界遺産ケベック旧市街地、ケベック文明博物館

【調査日】2016年4月2日（土）10時00分～16時00分

【調査先】世界遺産ケベック旧市街地、ケベック文化博物館(MUSEE DE LA CIVILISATION)の視察及び日本人在住者との意見交換

### 《ケベック文化博物館》

ケベック州の歴史資料を展示しながらフランス色の濃い分離・独立運動への経過について映像を交え、ケベックのアイデンティティが説明されていました。

1608年、サミュエル・ド・シャンプランによってフランス植民地の拠点としてケベックシティが築かれました。この植民地はアメリカのような先住民族を征服・駆逐するものではなく、融和的なものであり、主な手段は「酒」が使われたようです。

ケベックからセント・ローレンス川に沿ってモントリオールに至るフランス植民地（ヌーベルフランス）に対し、イギリスはその南方のニューイングランド地方のみならず、北方のハドソン湾から現在のオンタリオ州方面に勢力を拡大したそうです。その抗争は1759年にフランス軍の大敗となり、ケベックも含めイギリス領となりました。

これ以来、入植していた約2万人のフランス人を先祖とするケベック人たち（ケベコワと自称）の反英感情と、郷土愛が根強く残ることとなりました。1990年代に入ってから、この自治意識はカナダからの分離・独立運動にエスカレートしましたが、住民投票による僅差で独立派は敗北しました。

現在でも、連邦制のもとケベックの自治権とアイデンティティの強化の拡充を求めるケベック党をはじめとするローカルパーティーの支持が依然として強いです。



植民地時代の生活道具等も展示されている





## 《ケベック旧市街地の「歴史地区」世界遺産地域視察》



カナダで9番目に登録された世界遺産で、北米唯一の城郭都市として知られています。登録の区分は文化遺産で、1985年に登録されました。アップータウンには、旧市街地のシンボルとなる高級ホテル「シャトー・フロンテナック」をはじめ、ノートルダム聖堂などがあり、また、ユネスコの事務所もケベックシティに設けられています。ダウントウンは北米最古といわれる繁華街「プチ・シャンプラン」などがあり、レストランや土産物店の上層階は住居となっていますが、街並み保全のため建て替えはもちろん改修などは厳しく制限がされています。

インフォメーションセンターは広い面積が確保されており、窓口も10カ所以上、気軽に声かけられ対応してもらえる体制となっています。現在はシーズンオフのため、スタッフは少数でしたが、ディスプレイも含めて楽しい環境となっていました。また、同施設内には両替ブースがあり、日本人観光客が少ないなか、「サン マン エン」と、日本語で確認するなどフレンドリーな対応でした。歴史的な街並みという地域資源を活かすには、w i f i 環境も含めて、ソフト面の充実が重要であることを改めて認識しました。



景観保存法令により、古い街並みを保存



旧市街からの高台にあるフェアメントホテル

## 《ケベックでの暮らし向きについて現地在住日本人との意見交換》

日本の消費税に相当する税率が約15%（連邦付加価値税が5%、ケベック州の売上税が約10%）、所得税に相当する連邦税が15%～29%と高額一方で、教育費や医療費等が無料の、いわゆる「ハイリスク・ハイリターン」制度のなかでの暮らしについて、ケベック市在住25年の阿久津さんから、色々とお伺いし、意見交換を行いました。



ケベック在住 25 年の阿久津さん

### ・暮らしについて

食料品のうち、肉類は比較的安定しており低価額に対して、野菜類は非常に高価です。例えば、大根は半分で200円から300円位しますし、レタスは1玉で400円位であるため、低所得者はジャンクフードやハンバーガーなどに食をシフトしているようです。

自動車では、年間約3万円程度税金の中に保険も自動加入しています。しかし、車検制度がないため整備不良車も多く見られ、事故も多いです。また、修理などは部品の在庫が少なく、時間を要することもあり、修理費も高額となることが多いです。したがって、ディーラー制度が確立している日本車は好まれる要因となっています。

自動車免許代は年間1万円程度。自動車事故の場合、日本の任意保険制度は無く、交通事故等はケベック州政府がすべて補償してくれます。ただし、事故で治療を受ける外国人が帰国した場合は、その後の治療費は自己負担となります。また、自動車による物損や賃貸住宅などの入居者が起こした事故も、加害者は賠償しないので、物損保険には多くの方が加入しています。

### ・病院・医療について

医療費は基本的に無料ですが、妊婦は周期ごとに診察を受ける病院が異なり、日本のように出産まで継続的に受診することが出来ません。また、出産間際まで入院をすることができず、出産後も72時間で退院・帰宅となります。出産に際しても、事故に対する承諾書を書かなければならないため、医療過誤に対する保証はありません。

かつて、阿久津さんのご主人が大腸ポリープの手術（大腸に直腸を10cm移植）を受けたケースでは、執刀した医師は術後バカンスに行き、手術直後の食事にチキンの丸焼きが出され、体力をつけるため食べろと言われて食べたところ、傷口が破裂。その後の再手術で人口肛門を半年間付け、手術前の状態に戻るまで1年以上も

要する事態になったそうです。

なお、歯科治療や薬は自己負担なので高額となり、救急車は3万円程度の利用料が必要です。（距離と時間制で料金が課金される）

また、公立病院は安いけれど待つことが多く、私立病院（ホームドクター）は高いけれどすぐに診察を受けることができます。

## • その他

旧市街地の観光馬車の馬は、夏は暑くなりすぎるため、午前1回、午後1回しか働かせないようになりました。最近の夏は、最高気温が45℃になる日もあるため、夏はクーラーなしでは過ごせません。温暖化が進んでいることを実感します。

また、フェアモントホテルには盲導犬になりきれない犬を飼っています。また、フェアモントホテルは、当時のトルーマン大統領とチャーチルが、広島に原爆を落とすことを決めた密談会場でもあります。



お城のようなフェアモントホテル

## • 電力事情

電気料金は非常に安く、5人家族の家庭で1カ月およそ5,000円です。電気代に加えて水道代も安いので、賃貸物件などは家賃に電気・水道代が込みの家賃制度となっているところが多いです。また、水力発電で余った電力は、アメリカ・ニューヨークなどに売電をしており、最近普及しているEV車の充電施設利用代は、2.5\$で時間制限はありません。

## • 住宅事情

郊外の一般的な住宅は、400万円ほどで購入することができます。郊外の土地は安く安いため、建屋部分の建築費が大半ですが、固定資産税は日本と比較すると意外に高額で、以前暮らしていた埼玉県と比較して約30倍と高いです。

また、アパートの契約は1年更新が基本となっています。



ケベック市内の住宅街

## • 行政事情

カナダには、住民票や戸籍制度が無い  
ため、納税や社会保障など行政の個人管理は全て社会保障番号で行われます。

住民税はなく、消費税のような間接税  
が多用されており、何を買ってもチップと消費税で、商品代金に30%~40%くらい上乗せされる勘定になります。税金は年末調整で徴収され、所得比例で税金は増える仕組みと同時に、年金額も増える仕組みとなっているそうです。年金は州の年金と連邦政府の年金の2種類があり、警察も州と政府それぞれが持っています。また、選挙権は阿久津さんいわく、いい加減に管理されていると思いますよ。納税している住民全てに対して投票用紙は送付されてくるが、きちっと管理されていない状況があるそうです。



ケベック市役所庁舎

## • 働き方

フレックス制が確立しており、基本は8時間労働で、残業はしません。また、ケベック州では社員30人以上の会社にフランス語を共通語とすることが義務付けられています。

## What is this ? 街角で見かけた? なモノ



### 歩行者用信号押釦

皆さんが指を指している所に小さな押釦(ボタン)があります。交差点の車道よりではなく民間敷地寄りに設置されており、信号待ちをしていたところ地元の方が押してくれて“発見”しました。

### 郵便ポスト

世界遺産の旧市街地や、都会的な街中など様々な所に「派手」な模様のポストが置かれていました。現代アートが盛んなカナダならではのポストです。



## ケベック市・バンクーバー市の街並

2016年4月3日（日）ケベック市⇒モントリオール経由⇒バンクーバー市への移動



歴史的建造物のケベック州議会庁舎



モントリオールから鉄道でケベックに移動



歴史を感じるケベック駅舎



モントリオール空港のR J機



ケベック空港からの国内線R J機



バンクーバーコンベンションセンター前にて



ビクトリアへは水上飛行機が早くて便利



グランビル・アイランドのポップアート



グランビル・アイランドのマーケット



バンクーバーオリンピックの聖火台



バンクーバーの高層ビル群

## 日本貿易機構(JETRO)バンクーバー事務所

【調査日】2016年4月4日(月)10時00分～12時00分

【調査先】日本貿易機構バンクーバー事務所

【対応者】ジェトロ委託コンサルタント President Ms. Gayle Oyama

【調査目的】カナダ連邦政府及びブリティッシュ・コロンビア州の経済事情及び環境対策について調査。



説明頂いた Ms. Gayle Oyama さん



### 訪問先からの説明

#### ◎ カナダ・BC州概要

カナダは10の州から構成されており、人種の違いが目立つ国。ブリティッシュ・コロンビア州を始め西海岸側4州は経済面でカナダをリードしています。一方、東海岸側は漁業が中心です。

BC州の面積は日本の1.5倍あり、カナダ連邦はBC州の10倍の面積となっています。人口はBC州450万人、カナダ連邦は3600万人。移民が毎年人口の1%ずつ増え、全人口の20%は移民です。(人口の85%がBC州はじめ4州に住む。)20代から40代の技術者を多く移民として受け入れています。もちろん難民の受け入れも行っています。そして、特にバンクーバー市の40%は英語・フランス語が話せないアジア系移民が60%を占めています。

#### ◎ 経済

カナダ連邦の経済は、一言でいえば「金持ち国」です。社会保障制度が確立し、国の借金はG8では少ない国です。昨年10月に政権交代し、新政府は大きな政府を目指し、投資を行ってために赤字が増えています。所得税は国が15%から29%を賭け、BC州は4%から21%を掛けています。国全体の失業率は7.2%。東海岸側は11%と高く、BC州は6.6%となっています。

2015年の成長率は2.3%ですが、2016年は資源安から成長率は1.1%が予想されます。(収支は2900億円の赤字)BC州は3%程度の成長率であり、2017年は持ち直す予想を立てています。

GDPの内訳は、75%の国民がサービス業、GDPの9%が農林漁業、GDPの

2. 9%がエネルギーとなっています。BC州では、サービス業がGDPの80%を占め、人口の75%が従事しています。

#### ◎ 産業

製造業は、GDPの14%を占め、新しい分野でIT産業は81,000人が働いています。特にゲーム業界では、世界最大のスタジオがBC州にはあり、バンダイナムコやカプコンなどもバンクーバーに拠点を持っています。ソニー映像も米国から移転してきており、また、小さいが繊維産業がBC州で復活してきています。

輸出TOP5は植物油、銅、木材、肉、木材 輸入は車、重機、ケミカル。BC州輸出は鉱物、木材、パルプ、魚などです。

航空宇宙産業は、カナダ連邦で700社7万6千人が働いています。Maintenance Repair Overhaul (MRO) が44%で一番高く、次いで製造は14%です。航空宇宙産業が育ったのは、教育を行い、就労を進めた結果です。大学との連携はSFU, UBC, BCITなど大学に飛行場の近くに学部を置くようにしました。米国ボーイング社は、カナダに視認検査研究所を作りたかったので、バンクーバーに航空宇宙産業が根付きました。BC州では、創業の航空宇宙産業が徐々に大きくなり、BC州の補助金はありませんが、なぜ、BC州なのかは、2014年に5億円の基金を作り、毎年1億円を拠出し、航空宇宙産業の育成の呼び水としている。さらに2015年は10億円の基金を作り、人材育成のため、小学校から航空宇宙産業に関する教育を行うこととし、2016年1月に発表・成立しました。





## VEC(Vancouver Economic Commission)

【調査日】2016年4月4日(月)14時30分～16時00分

【調査先】Vancouver Economic Commission (バンクーバー市役所環境部)

【対応者】Ms. JUVAYYA VWLTKAMP バンクーバー市 環境部長

Ms. LILY CHEN バンクーバー市アジア方面貿易担当者

Ms. Jennifer Horsman

ブリティッシュ コロンビア州国際貿易省日本担当シニアマネージャー

【調査目的】バンクーバー市の環境施策、グリーン エコノミー戦略の取り組みについて調査。



左からBC州国際貿易省日本担当の Ms. Jennifer Horsman さん、バンクーバー市環境部長の Ms. JUVAYYA VWLTKAMP さん、アジア方面貿易担当者の Ms. LILY CHEN さん

### GREEN ECONOMY 計画概要

バンクーバー市は、「世界で最もグリーンな都市」を目指して、「グリーンストシティ 2020 行動計画」(Greenest City 2020 Action Plan)を2009年に採択しました。その計画では、2020年までに取り組む目標分野として、以下の10項目を掲げ目標値を設定しています。

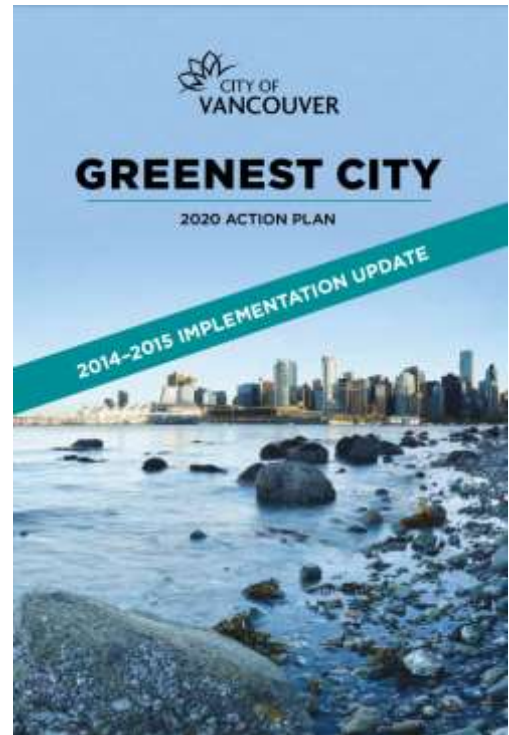
- Climate Leadership: 気候変動への適応及び再生可能エネルギー戦略
- Green Buildings: 建物のエネルギー消費の低減
- Green Transportation: 公共交通機関の活性化
- Zero Waste: 堆肥化、再利用、リサイクルの促進
- Access to Nature: 生息地及び自然環境確保のための都市林の拡大
- Lighter Footprint: 環境に優しい食べ物や購買行動の促進
- Clean Air: 電気自動車

- Clean Water: 飲み水の保全
- Local Food: 地産地消の拡大
- Green Economy: 社会的企業やグリーンビジネスの拡大

### 訪問先からの説明

バンクーバー市はカナダで1番、世界で3位の住みやすい市といわれています。また、緑の多い町としても世界3位です。

バンクーバー市は、クリーン・エネルギー、交通、建築物緑化などのプロジェクトを行い「新しいグリーン産業」を先導しています。GREENEST CITY に向け 2020 年の行動計画 (ACTION PLAN) を立て、その中の GREEN ECONOMY 計画では、技術革新・創造・持続の3つをテーマに8つの目標(2020年に2倍の数値)を立て取り組みを進めています。そのうちの、「Green Buildings」と「Local Food」の2つの目標について説明します。



### 1: GREEN BUILDING

2020年時点で、既存建物でのエネルギー使用と温室効果ガス排出量を2007年レベルの20%減らすことなどを目標としています。

この事業には、2010年に3000人が従事していましたが、2013年は4500人と50%増となっており、バンクーバー市では20人に1人が従事していることとなります。



### 2: LOCAL FOOD

地産地消を進め、食料品輸送の環境負荷軽減を図るため、地産品の使用を2020年には2010年の50%以上とすることを目標としています。この目標は、市内レストランのみならず、フードトラックも同様に規定されています。また、分野に2010年は4900人が従事していましたが、2013年は6000人と21%増となっています。



VANCOUVER'S PUBLIC LOCAL FOOD ASSETS: BY THE NUMBERS			
INDICATOR	CURRENT	2015 ACTUAL	PER CENT INCREASE
Community Garden Plots	69	100	45%
Farmers Market	4	22	450%
Community Produce Stand	3	15	400%
Community Food Composting Facilities	0	5	500%
Community Garden Plots	3,260	5,000	53%
Urban Orchards	3	10	330%
Urban Farms	1	5	400%
Food Hub	0	1	100%
<b>TOTAL</b>	<b>3,340</b>	<b>4,608</b>	<b>54.4%</b>

※参照 GREENEST CITY 2020 ACTION PLAN

他に、CLEAN AIR 計画では、電気自動車の導入推進を掲げています。そのためのインフラ整備として、ビルの規模により急速充電施設の整備率を規定しています。

次の段階では、GREEN & DIGITAL Demonstration Program を計画しています。私たちは小さな会社をどのように支援するかを検討もしています。現在、市として2年間で80社と連携をしました。

最後に、市としてグリーンな働き場所を提供していきたいので、2010年から2050年までの長期計画を作り始めました。



バンクーバー市内の電動カーシェアリング



## カナダ視察・調査の全体を通して

今回のカナダ視察・調査は、平成 27 年度の年度末から平成 28 年度の年度初めにかけての日程で行いました。ケベック州政府やブリティッシュ・コロンビア州政府、バンクーバー市も、日本と同様に年度替わりであるにもかかわらず、様々な分野についての調査や意見交換にご協力をご頂きました。特にフライトクルー養成のCAE社は、以前訪問した日本人の対応があまりにも悪く、実に 4 年ぶりに日本からの視察を受け入れたとのことで、大変緊張をしました。今回ご対応を頂きました皆様に、心より感謝とお礼を申し上げます。また、調査団員の森井議員には、関係機関への事前アポから現地での通訳など、大変お世話になりました。

今回の視察は、日本からケベック州へ直行便が無いいため、アメリカ・シカゴを経由してモントリオールに入りました。しかし、シカゴ空港での入国審査が滞り、ESTA申請以降初入国の 6 人は予定の乗継便に乗れず、また悪天候(日本出発時にはケベックシティがマイナス 16 度の嵐の予報もありみんな重装備できていましたが、フライトのことまでは考えが及びませんでした。幸い調査日は晴れて悪天候にならず天に感謝でした。但し、雪はしっかり残っていました。)による空港閉鎖も加わり、当日の 21 時にはモントリオールへ到着する予定が、翌日の早朝 3 時となるなど初日から過酷でしたが、得られた成果は大きなものがありました。

### ■ 航空宇宙産業施策

航空機製造企業に関連企業も加わり、企業の垣根を越え、国、州政府、組合、大学、研究機関等と一体となった実効性のあるシンクタンク：Aero Montreal の国際化と競争力への取組は大変参考になりました。シアトル、ツールーズの大型機の生産拠点とは異なる愛知県の目指すべき姿です。そして、完成機を創るために企業が集積してきたグレーターモントリオールに対し、個別に集積してきた地域での完成機の生産に挑戦するMRJがものづくりの愛知に及ぼす効果に大いに期待するものです。また、国産初のジェット旅客機をトレーニング用の最新機器の製造や育成プログラムを開発し、航空業界を支える人材の育成に取り組んでいるCAE社は、MRJの三菱航空機株とも訓練プログラム開発・実施の契約を結んでおり、グローバルなサービス提供の実態を目にしました。カナダでは、全ての航空関係の法律をアメリカのルールに合致させており、カナダ航空局が審査でFAA（アメリカ連邦航空局）審査の代行が可能となっています。いずれにしても、次世代産業の中核であるMRJ、その先輩・ライバルである今回のボンバルディアとエンブライエル(ブラジル)については県としても実態を把握し、取組の強化を図る必要性を痛感しました。加えて、連邦制の中で州政府にかなりの部分権限(財源は…)があり、地方分権の必要性も実感しました。

### ■ 環境施策

また、カナダでは電力エネルギーのほぼ全てが水力発電で賄われているなど、自然資源の豊かさからも環境施策の取り組みは先進的でした。特にバンクーバー市が取り組んでいる「世界で最もグリーンな都市」(GREENEST CITY)のグリーン エコノミー戦略は、2020 までの取り組みと目標が掲げられ、企業や市民が参画しなければ達成できない目標です。「この夢を叶えるには、あらゆる世代の住民の強い意志と関

与が必要だ」と考え、バンクーバー財団とともに目標分野の取り組みを資金面から応援する「世界で最もグリーンな都市基金」(Greenest City Fund)を創設し、住民個々の取り組みや非営利組織、団体、組織など3種類のプログラムに拠出しています。

愛知でも、COP10開催以降も太陽光発電など再生可能エネルギーの普及や生物多様性に向けた取り組みが進められていますが、環境保全・保護に対する意識啓発とともに意識改革から実践へとつながる具体的な施策の展開を県民とともに進めて行くことが課題と感じました。

また、ケベック州政府関係者から、愛知県に対して気候変動に関するサブナショナル政府の取り組み要請と、知事のケベック州訪問が熱望されました。

## ■ 女性の活躍

日本で大きな社会課題となっている「女性の活躍促進」ですが、今回の視察・調査で対応いただいた Aero Montreal やケベック州政府、バンクーバー市役所など、ほとんどの方が女性であったことに驚きました。今回の調査項目ではありませんが、カナダ連邦政府やケベック州政府においての女性活躍促進の考え方と支援・対応について伺いました。しかし、答えは意外な内容でした。

まず、「女性の活躍促進という質問の趣旨が分からない。仕事の出来る人がその職を担っているのであり、この方が女性であったということです。」また、残業などの対応についても「残業は仕事の出来ない人がすること。」と、ごもったもたの答えで、日本との文化の違いを痛感しました。しかし、保育所事情は公的、民間、企業と充実しており、子育て環境は整っているとのことでした。また、「育メン」という言葉も、カナダには見当たらないようでした。

## 視察・訪問先でご対応いただいた方々

### ◆ Aero Montreal



◆ ケベック州政府航空宇宙部門

Ministère  
de l'Économie,  
de l'Innovation  
et des Exportations

**Québec**

**EXPORT QUÉBEC**

380 St. Antoine West Street, 5<sup>e</sup> Floor  
Montreal (Québec) H2Y 3X7  
Phone : 514 499-2199, ext. 3127  
Fax : 514 873-1535  
marie-eve.jean@economie.gouv.qc.ca  
www.economie.gouv.qc.ca

**Marie-Ève Jean**  
Director  
Asia Pacific and Oceania Markets Division

◆ CAE (フライトクルー養成会社)

**CAE**

**Eric Canonne**  
Director  
OEM Accounts, Business and Commercial Aviation

**CAE**  
8585 Côte-de-Liesse  
Saint-Laurent, Québec | Canada H4T 1G8  
Tel. +1 514 341 2000 ext. 2425 | Cell. +1 514 914 2299 | Fax +1 514 734 5682

cae.com eric.canonne@cae.com

**CAE**

**Oleh Kaluzny**  
Director of Global Sales & Business Development

**CAE**  
8585 Côte-de-Liesse  
Saint-Laurent, Québec | Canada H4T 1G8  
Tel. +1 514 341 2000 ext. 3734 | Cell. +1 514 826 6534

cae.com oleh.kaluzny@cae.com

**CAE**

**Jad Saleh**  
Global Business Development

**CAE**  
8585 Côte-de-Liesse  
Saint-Laurent, Québec | Canada H4T 1G8  
Tel. +1 514 341 2000 ext. 6432 | Cell. +1 514 220 4228

cae.com jad.saleh@cae.com

◆ ケベック州政府国際関係省

Ministère  
des Relations  
internationales

**Québec**

ケベック州政府  
国際関係省

525, boulevard René-Lévesque Est  
Québec (Québec) G1R 5R9  
電話 : 418 649-2400 内線 57171  
ファックス : 418 649-2427  
maude.cote@mri.gouv.qc.ca  
www.mri.gouv.qc.ca

**Maude Côté**  
アジア・太平洋局  
日本・韓国・オセアニア担当部長  
モード・コテ

Ministère  
des Relations  
internationales  
et de la Francophonie

**Québec**

International Organizations and  
Global Issues Division

525, boul. René-Lévesque Est  
Québec (Québec) G1R 5R9  
Phone: 418 649-2400, ext. 57369  
Fax: 418 649-2403  
claudette.audet-robotaile@mri.gouv.qc.ca  
www.mri.gouv.qc.ca

**Claude Audet-Robitaille**  
Adviser

Ministère  
du Développement durable,  
de l'Environnement  
et de la Lutte contre les  
changements climatiques

**Québec**

Direction: générale de l'écologie  
et de la conservation

Édifice Marie-Guyart, 4<sup>e</sup> étage, bte 21  
675, boulevard René-Lévesque Est  
Québec (Québec) G1R 5V7  
Téléphone : 418 521-3907 #4783  
Télécopieur : 418 646-6169  
jean-pierre.laniel@mddec.gouv.qc.ca

**Jean-Pierre Laniel**  
Directeur général par intérim

Ministère  
des Relations  
internationales  
et de la Francophonie

**Québec**

Direction Asie-Pacifique

Édifice Hector-Fabre  
525, boulevard René-Lévesque Est  
Québec (Québec) G1R 5R9  
Téléphone : 418 649-2400, p. 57810  
mathieu.doylegosselin@mri.gouv.qc.ca

**Mathieu Doyle-Gosselin**  
Conseiller en affaires internationales  
Papire Japon, Corée et Océanie

**Ministère  
des Relations  
internationales  
et de la Francophonie**  
**Québec**

Direction des organisations  
internationales et des enjeux  
globaux  
 525, boulevard René-Lévesque Est  
Québec (Québec) G1R 5R9  
 Téléphone : 418 649-2400, p. 57260  
 Télécopieur : 418 649-2403  
 frederic.gagnon@mri.gouv.qc.ca

Frédéric Gagnon  
Conseiller aux changements  
climatiques

◆ J E T R O Vancouver

**JETRO**  
 Japan External Trade Organization

**JETRO Vancouver**

600-890 West Pender St.  
Vancouver, B.C.  
Canada V6C 1J9

Tel: (604) 684-4174  
 info\_vancouver@jetro.go.jp  
 www.jetro.go.jp/canada/



**Gayle Oyama**  
 President  
**Oyama Projects Inc.**  
**604.970.4117**  
 consulting@OyamaProjects.com  
 www.OyamaProjects.com/consulting  
 Trade and Business  
 Development Consulting

◆ Vancouver Economic Commission

**JUVARYA VELTKAMP MBA**  
 Manager, Green Economy Initiatives

■ jveltkamp@vancouvereconomic.com  
 ■ 604 336 8025 ☎ 604 363 2744  
 ■ Suite 2480 - 1055 W. Georgia Street  
 Box 11102 Vancouver BC V6E 3P3



vancouvereconomic.com | twitter @VanEconomic

**LILY CHEN**  
 COORDINATOR  
 ASIA PACIFIC CENTRE

陈莉莉  
 助理, 亚太贸易投资中心

■ lchen@vancouvereconomic.com  
 ■ 604 336 8020 ☎ 604 363 8818  
 ■ Suite 2480 - 1055 W. Georgia Street  
 Box 11102 Vancouver BC V6E 3P3



vancouvereconomic.com | twitter @VanEconomic

◆ BRITISH COLOMBIA 州政府国際貿易省



国際事業開発局  
 日本担当シニア・マネージャー  
**ジェニファー ホーズマン**

電話: +1 778-968-2561  
 Eメール: Jennifer.Horsman@gov.bc.ca  
 ウェブサイト: www.britishcolumbia.ca

住所:  
 Suite 730 - 999 Canada Place  
 Vancouver, BC V6C 3E1  
 CANADA

カナダ  
 プリティッシュ・コロンビア州政府  
 国際貿易省